



詳細にわたり質疑応答



民生常任委員会報告

一層の福祉の充実を目指して！



委員長
魚原満晴

委員全員出席のもと、十分なる審議の結果認定すべきものと決定した。主な質疑、応答は以下のとおり。

福祉課関係

保育料の滞納についての質問に対し、14保育所全体で、573万3,120円の滞納との答弁。委員より生活困窮者に対する対策を考えてほしいとの意見があった。

福祉タクシー利用助成事業の執行率についての質問に対し、執行率は83.5%、利用者数は、771名で70.7%との答弁。

食の自立支援事業について、利用者負担を300円から500円に引き上げたことによる影響はとの質問に対し、対象人数は、ほぼ同じであるが、配食数は減っているとの答弁であった。



元気いっぱい大島っ子

健康増進課関係

基本健康診査の委託先は、公営企業局かとの質問に対し、18年度から個別検診になり郡内の医療機関に委託しているとの答弁。

医療保険課・税務課関係

国保会計の約8,800万円の黒字の要因は、の質問に対し、保険財政共同安定化事業の歳入増が約4,460万円、一般会計からの繰入金が増が3,500万円、高額共同事業の歳入増が1,730万円で、これらが主な要因との答弁。また国民年金の市町村の不祥事が問題となっているが本町はどうかとの質問に対し、周防大島町は問題なしとの答弁であった。

公営企業局関係

看護師は、企業局に何人必要か、との質問に対し、大島病院は約30名が必要だが、定員数に6名足りていないため現在60床で運営しているとの答弁。

診療報酬改定による影響と、総務部収支についての質問に対し、一人当たりの診療単価、患者数ともに減少、減収となっている。また総務部収入は6,982万円あまり減少しており、国債売却が減少したことが主なもののとの答弁。

給食の業務委託についての質問に対し、食事は患者にとってたいへん重要なため、地元の安全で新鮮な食材を提供したいが、経費的な面もあり今後色々な意見を参考に検討したいとの答弁であった。



大島病院